

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 31 年度

市町村名	川口市		
提案事業名	中核市移行記念 川口市PR映画制作事業		
事業期間	平成30年度	～	平成30年度
事業の必要性、目的	中核市移行を記念して、本市のPRを主体とし、魅力ある地域づくりを目的とした、映画の制作、映画祭等での上映を実施する。また住民参加のイベントも企画し、本市への愛着心醸成を図るほか、映画を広く上映することで本市への関心と、誘客を促し地域の活性化を図るもの。		
成 果 指 標	(成果を検証する指標) 上映する劇場（映画館）数		
	(成果検証の具体的な方法) 市内だけでなく市外の劇場（映画館）においても上映するもの		
	(上記の指標を設定した理由) 市内外の劇場（映画館）において上映することで本市の魅力などを広域にPRできるため		
	(成果の目標値)		
	現状値 (30年3月現在)	0 館	目標値 (32年3月時点) 6 館
	(施設建設等の場合)		
	年間利用者数(目標) (人)		稼働率(目標) (%)
	住民への公表方法 及び特記事項	市広報紙、ホームページ等で周知を行う。	

【成果指標と構成事業の関連性】

平成 30 年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 中核市移行記念 川口市PR映画	ソフト 川口市のPRを主体とし、魅力ある地域づくりを目的とした、映画の制作、映画祭等での上映を実施するもの。	35,000
②	ハードソフト間接補	
③	ハードソフト間接補	
④	ハードソフト間接補	
⑤	ハードソフト間接補	
⑥	ハードソフト間接補	
合計		35,000

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	市広報紙やホームページ、関係業界各社との協業による積極的な広報活動を実施し、市内外へ広くPRするとともに、映画祭での上映までに市民参加が出来るイベントを企画し映画に対する認知度を高める。
成果指標の達成見込み	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭は、平成30年度に15周年を迎えるなど国際的な映画祭として広く認知されており、東京からの立地も比較的良く、同時開催のイベントも実施され、集客が見込めることからPR活動と併せることで達成が期待される。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、
事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。